

令和2年度 学校経営方針・教育目標

令和2年4月1日

I 徳島県教育（徳島教育大綱）の基本方針

未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」の育成

「人財」の具体像

- ①「未来を切り拓いていく人財」
- ②「新たな価値を創造していく人財」
- ③「地域を輝かせる人財」

II 学校経営方針

1 教育目標

「誠実」「進取」「友愛」の校訓のもと、自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

2 教育方針

- (1) 生徒一人ひとりの個性や能力を生かし、職業人として必要とされる資質や態度を育成する。
- (2) 基礎基本の定着を図るとともに、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動する力を育成する。
- (3) 専門分野に関する確かな知識・技術の定着を図り、体験的学習を通して実践力を育成する。
- (4) 人と人とのつながりを大切にし、ともに高め合う心や道徳性、豊かな人間性を育成する。
- (5) 環境・防災・保健安全教育の充実を図り、健やかな体を育成する。
- (6) 人権尊重社会の実現をめざし、学校教育活動全体の中で、人権教育を推進する。

3 本年度の重点目標

- (1) 学習指導の充実
 - ・学習習慣の確立を図り、基礎学力の定着と専門分野の知識・技術の確実な習得を図る。
 - ・将来を見据えた望ましい職業観を育成し、主体的に他者と協働して学習する態度を育てる。
- (2) 生徒指導の充実
 - ・学校生活全般を通して、基本的な生活習慣の確立と集団生活の規律向上を図る。
 - ・問題の早期発見に努め、家庭・地域・関係機関と連携し、組織的な生徒指導を推進する。
- (3) 進路指導の充実
 - ・キャリア教育を推進し、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育成する。
 - ・具体的できめ細やかな進路指導を行い、生徒の自己実現の支援を行う。
- (4) 特別活動の充実
 - ・学校行事、生徒会活動や部活動の活性化に努め、生徒が自主的に活動する態度を育成する。
 - ・ボランティア活動や地域に根ざした活動、伝統文化の継承を通して、豊かな人間性を育む。
- (5) 人権教育の推進
 - ・人権の意義や重要性を認識させ、学んだことを行動に結びつける実践力を育成する。
 - ・すべての生徒に「いじめは決して許されない」ことを理解させ、互いの人格を尊重し、支え合う人間関係を築く能力を養う。
- (6) 環境・防災・保健安全教育の推進
 - ・環境問題や環境整備に自主的・主体的に取り組む態度と実践力を育成する。
 - ・防災教育を推進し、安心して学べる教育環境の確保と防災・減災対策の強化を図る。
 - ・生涯を通して、活力ある生活を送るための基盤である健康の保持と増進に努める。
- (7) 教育相談・特別支援教育の充実
 - ・自己理解、他者理解、コミュニケーションスキル育成等の観点から教育相談の充実に努める。
 - ・教育的支援が必要な生徒を、学校全体で支えていく体制の整備と充実に努める。
 - ・学校と家庭及び専門機関との連携を密にし、相談支援体制の充実に努める。
- (8) 主権者教育・消費者教育の推進
 - ・政治や選挙制度に対する理解と参加意識を高め、自ら考え判断する主権者を育成する。
 - ・人や社会・環境に配慮した消費行動への関心を高め、自ら考え判断する消費者を育成する。
- (9) 開かれた学校づくりの推進
 - ・家庭や地域社会と連携し、地域に開かれた、地域に貢献できる学校づくりを推進する。
 - ・ホームページや中学校訪問等を通して積極的に情報発信を行い、教育活動の広報に努める。
 - ・教職員の意識改革と資質向上に努め、保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。